



＜第2回 学校評価 分析と考察＞

本校では、授業のユニバーサルデザイン化を研究課題にして、「主体的・対話的で深い学び」をキーワードにする授業改善に取り組んでいます。一方、特別の教科道徳科や総合的な学習の時間では、「いのちの学習」に重点をおき、自他の生命の大切さを考える時間を増やすようにしています。

1. 児童について

第2回学校評価においても、低学年・高学年どちらにおいても、ほとんどの項目で、80%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。特に(1)「友だちと仲良く学校生活を送っている」(2)「掃除や片づけを最後までする」(3)「きまりや約束をしっかり守っている」(7)「学習の準備を忘れない」(9)「人の話をしっかりと聞く」(12)「相手の気持ちを考えて行動する」(13)「人の命は何よりも大切なものである」(14)「情報モラルやマナーを守る」で、90%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。さらに、第1回と比較をすると、(2)「掃除や片づけを最後までする」(7)「学習の準備を忘れない」(9)「人の話をしっかりと聞く」(12)「相手の気持ちを考えて行動する」の4項目で「よくできている」か「大体できている」と回答した児童が増え、90%以上になりました。一方で、(10)「自分の考えや思いを話す」(11)「すすんで体を動かす」は、他の項目より、少し低い数値となっていました。

これらのことから本校の子どもたちは、引き続き、基本的な生活習慣や規範意識を大切にしながら過ごしていると考えられます。第1回で課題であった、(9)「人の話をしっかりと聞く」(12)「相手の気持ちを考えて行動する」がよくなるようになった児童が増えたことから、人権感覚も育ってきていると考えられます。第2回の課題は、(10)「自分の考えや思いを話す」(11)「すすんで体を動かす」になります。コロナ禍で、学習では話し合い活動ができなかったり、放課後の残り遊びができなかったりしたことが大きく影響していると考えられます。

「あまりできていない」「できていない」と回答した子どもに寄り添いながら、来年度も学校全体の合言葉である「みそあじ(身支度・掃除・挨拶・時間を守る)」の継続した指導を進めてまいります。また、毎月10日の「なかよしの日」の学習や「いのちの学習」を通して人権感覚を磨いたり、命の大切さについて考えたりすることについても継続していきます。

2. 教職員について

今回の教職員の回答でも、ほとんどの項目で80%以上が「よくできている」か「大体できている」と回答していました。

(5)「すすんで読書に取り組むよう働きかけている」と(8)「早寝・早起き・朝ごはんを心がける」で、「あまりできていない」と回答した教職員が比較的多くいました。(5)については、朝読書の時間を確実に確保し、児童が落ち着いて読書に取り組めるよう働きかけてまいります。さらに(8)については、生活チェック週間の取組に加え、定期的に声かけができるよう、取り組んでまいりたいと思います。

3. 保護者について

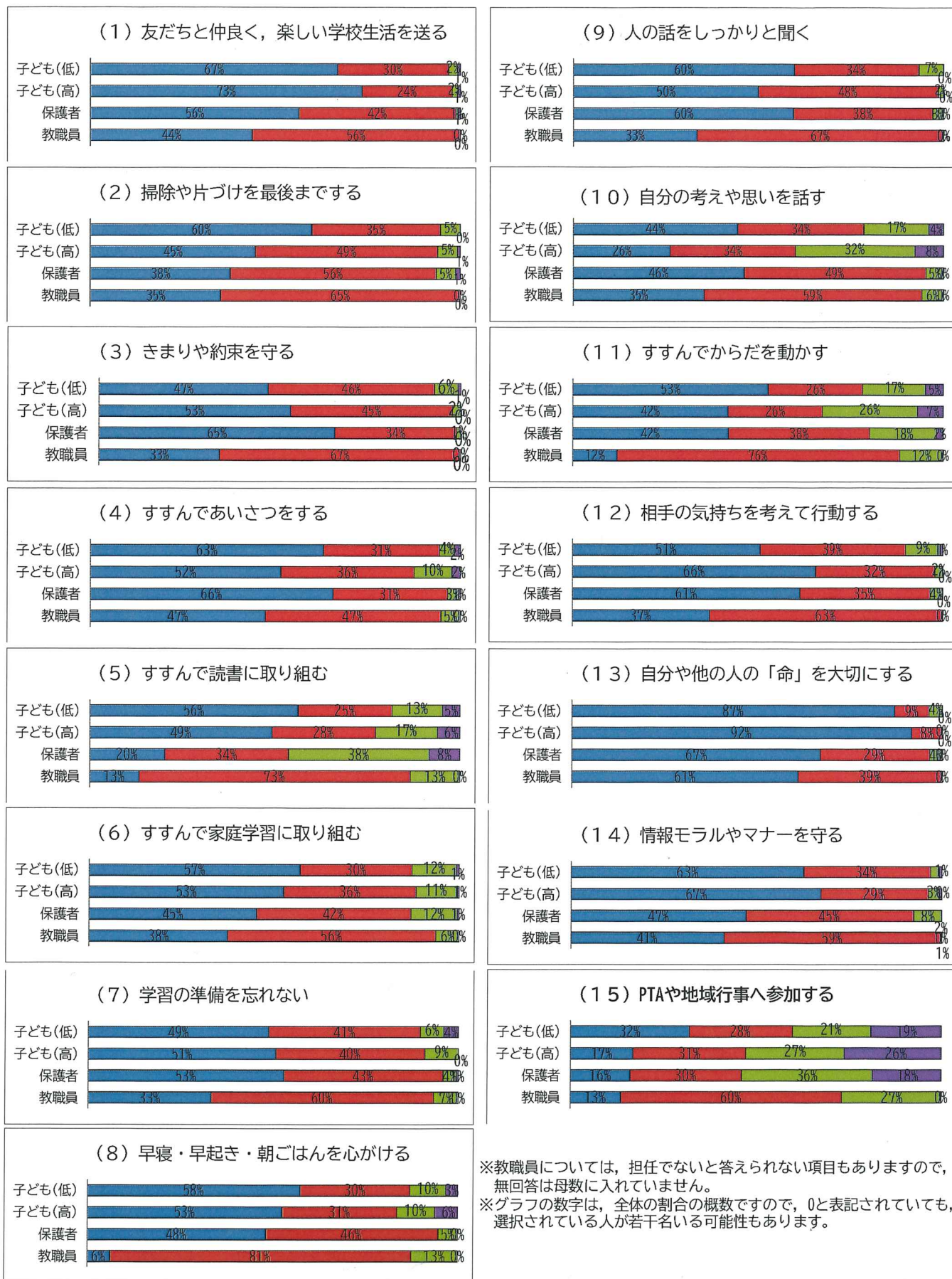
今回も保護者の方の回答は、ほとんどの項目が80%以上「よくできている」か「大体できている」との回答でした。第1回と同様に保護者の方の「よくできている」「大体できている」という回答率が高い項目は、概ね子どもたちの回答も「よくできている」「大体できている」となっています。今年度も、ご家庭での声かけが子どもたちに反映されていました。第1回では、(6)「すすんで学習に取り組むように働きかけている」の項目で、「よくできている」か「大体できている」の回答が54%でしたが、今回は87%に上がっていました。進んで学習に取り組む子どもは、学習内容を周囲の人に話すことでコミュニケーション力やわかりやすく話すことのできる語彙力・表現力が養われます。これは、読書にも同じようなことが言えます。第2回の結果から、(5)「すすんで読書に取り組むように働きかけている」は、教職員と保護者共通の課題だと言えます。来年度もご家庭でもお声かけをいただきますようお願いいたします。

第2回目の学校評価にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。

凡例(左から) Aよくできている B大体できている Cあまりできていない Dできていない

アンケートは、子ども・保護者・教職員それぞれによる自己評価です。子どもについては、自分自身の実現度を質問しています。保護者・教職員については、自分の子どもへのかかり方での実現度について質問しています。

(例)児 童:友だちと仲良く楽しい学校生活を送っている
保護者:友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるように働きかけている。
教職員:友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるよう学級づくりを進めている。



※教職員については、担任でないか答えられない項目もありますので、無回答は母数に入れていません。
※グラフの数字は、全体の割合の概数ですので、0と表記されていても、選択されている人が若干名いる可能性もあります。